

特許検索事例研究会 ～拒絶理由に学ぶ特許検索式の立案ノウハウ～

「演習問題 1 2：情報処理装置、情報処理方法及び情報処理プログラム」の事例解説

1. 演習問題 1 2 の内容

演習問題 1 2 の題材公報は「[特開 2 0 2 0－0 8 6 6 6 5](#)：情報処理装置、情報処理方法及び情報処理プログラム」です。この特許出願の請求項 1 の新規性を確認するための検索式を検討してください。

【発明の名称】情報処理装置、情報処理方法及び情報処理プログラム

【要約】【課題】電子商取引におけるユーザビリティを向上させること。

【解決手段】本願に係る情報処理装置は、記憶部と抽出部とを備える。記憶部は、電子商取引で取り扱われる商品に関する商品情報と商品の配送方法に関する配送情報とを対応付けて商品毎に記憶する。抽出部は、記憶部に記憶された商品情報と配送情報とに基づいて、注文者によって選択された複数の商品の配送情報を商品毎に抽出する。

【請求項 1】

電子商取引で取り扱われる商品に関する商品情報と前記商品の配送方法に関する配送情報とを対応付けて商品毎に記憶する記憶部と、
前記記憶部に記憶された商品情報と配送情報とに基づいて、注文者によって選択された複数の商品の配送情報を商品毎に抽出する抽出部と、
を備えることを特徴とする情報処理装置。

そして、拒絶理由の中で、【請求項 1】の新規性を否定するとして示された引用文献が 1 件ありました。

引用文献：[特開 2 0 0 2－0 0 7 7 4 5](#)

<拒絶理由通知書に記載された審査官のコメント>

電子ショッピングで扱われる商品について、商品 ID 等（本願の請求項 1 の「商品に関する商品情報」に相当）と配送種別（本願の請求項 1 の「商品の配送方法に関する配送情報」に相当）とを商品毎に記憶する商品情報記憶手段（本願の請求項 1 の「記憶部」に相当）と、ユーザからの商品の指定に基づいて、商品の商品 ID を取得し、商品情報記憶手段を参照して、商品毎に、商品 ID に対応する配送種別等を読み出す、情報処理システム、が記載されている。

そうすると、本願の請求項 1 に係る発明と、引用文献に記載された発明とは、発明特定事項に差異はない。

皆様は、この引用文献を抽出することができたでしょうか？ また、どのような検索戦略を立案すればヒットさせられるでしょうか？

2. 発明の認定および題材公報と引用文献との対比

まずは、調査対象とした発明の認定作業から行いましょう。

最近では、あらゆる商品、サービスが I o T 化の流れの中で、受発注の仕組みをはじめ、製造工程や、配送、メンテナンスの場面でもインターネットとは切り離せなくなっているのではないのでしょうか？

今回は電子商取引の題材に取り組むことで、I o T に関する特許調査の参考になればと思いました。

発明の内容を確認すると、電子商取引で取り扱われる商品の『商品情報』と『配送情報』の取り扱いに関連する発明であり、請求項 1 では、『商品情報』と『配送情報』とを対応付けて商品毎に記憶するとともに、注文者によって選択された『複数の商品』の配送情報を商品毎に抽出することを特徴としています。

具体的なメリットとしては、複数の商品を選択した注文者に対して商品毎に配送方法を選択することや、複数の商品を組合せる配送セットの最短のお届け指定可能日を算出したりすることが可能になるようです。

ここで、題材公報と引用文献に付与されている特許分類やキーワード表現の、一致点、相違点について確認してみましょう。図 1 は題材公報と引用文献の対比表です。

対比公報	題材公報	引用文献
	特開2020-086665	特開2002-007745
出願日	2018/11/19	2000/6/20
公報発行日	2020/6/4	2002/1/11
出願人	ヤフー株式会社	株式会社野村総合研究所
発明の名称	情報処理装置、情報処理方法 及び情報処理プログラム	情報処理システム及びその方法、 並びにコンピュータ上で動作する 情報処理プログラムを記録した記録媒体
I P C (公報記載)	G06Q30/06	G06F17/60,310 G06F17/60,ZEC G06F17/60,326
F I (更新データ)		G06F17/60,310E G06F17/60,ZEC G06F17/60,326 G06Q30/02,150 G06Q30/02,470
	G06Q30/06,300[電子ショッピング]	
		G06Q30/06,126E
F ターム (更新データ)		5B049[特定用途計算機]
	5L049 [管理・経営・業務システム, 電子商取引]	
	5L049BB65[配送]	5L049BB08[広告、情報提供] 5L049BB47[オンラインショッピング]
キーワード	電子商取引	電子ショッピング
	商品情報	商品情報、商品 I D
	配送情報、配送セット、 配送方法、配送スケジュール、 配送所要日数、配送可能期間	配送種別、配送方法、 配送サービスの名称
	注文者	消費者、ユーザ

図 1 題材公報と引用文献の対比表

特許分類について比較してみると、公報発行時に記載された I P C や F I については共通する分類コードは見られませんが、最新の F I に対応付けて特許情報標準データに収録されている F I については、「G 0 6 Q 3 0 / 0 6 , 3 0 0 : 電子ショッピング」が題材公報と引用文献の両方に共通して付与されていました。2 0 2 0 年に公開された題材公報には現時点で運用されている「G 0 6 Q 3 0 / 0 6 , 3 0 0 : 電子ショッピング」が付与さ

れ公開公報に掲載されていますが、引用文献が発行された2002年には「G06Q30/06, 300」は存在せず、旧分類である「G07F17/60, 310E: オンラインショッピング、バーチャルショッピングモール、TVショッピング」が付与され公開公報に掲載されていました。FIとFタームについては、分類の改廃が行われると、過去に付与された分類に対応する最新のFIとFタームが対応付けられて、特許情報標準データに最新のFI、Fタームが収録されています。ちなみに、「G07F17/60, 310E」は「G06Q30/06, 126E」に移行され、さらに、「G06Q30/06, 300」に移行されています。そのため、引用文献の特許情報標準データには、これらの3つのFIが付与されて蓄積されています。(旧分類の参照とか移行先確認については、演習問題4の解説記事の中で説明しています。)

Fタームについては、「5L049: 管理・経営・業務システム、電子商取引」のテーマが共通していましたが、細分類項目については共通するFタームは見られませんでした。

キーワード表現について比較してみると、「商品情報」については「商品ID」という表現があり、配送情報の具体的なものとして、「配送方法」「配送スケジュール」「配送期間」「配送サービスの名称」といったキーワード表現が見られました。

効果的に引用文献をヒットさせるためには、共通性が高い分類を見つけ出し、検索式に採用することと、キーワード指定を行う時には、類義語表現についてケアすることが必要となります。皆様は、共通性が高い特許分類を特定し、適切な類義語展開を実施することができたでしょうか？

3. 検索報告書からの学び

今回の題材では登録調査機関に検索外注が行われ、登録調査機関より検索報告書が作成されていました。検索報告書の中では検索論理式やスクリーニングサーチの結果について報告されているので、登録調査機関の調査員が、どのような検索アプローチを実施しているのかを確認できます。

今回の調査は国内と外国の両方の調査が行われていましたが、国内特許については、No. 1~17と、No. 22の検索アプローチが行われていました。実際に行われた検索論理式とヒット件数を図2に示しました。

■検索論理式

年月範囲：年月日～2018年11月19日

【No.】	【クレームNo.】	【テーマコード】	【検索論理式】	【件数】
1	1-12	5L049,9A001,9A015	5L049BB22*(同梱+まとめ+纏め),5c,配送/tx*(大型+小型+タイプ+サイズ+重さ+大きさ+冷凍),10n,商品/tx	25
2	1-12	5L049,9A001,9A015	[5L049BB22*(同梱+まとめ+纏め),5c,配送/tx*商品,20n,配送/tx]-¥1	64
3	1-12	5L049,9A001,9A015	[5L049BB22*商品,10c,(同梱+まとめ+纏め+一括+セット+組)/tx*{商品,(同梱+まとめ+纏め+一括+セット+組),配送},20n/tx*{商品,配送,(記憶+データベース+D B)},40n/tx]-¥(1+2)	89
4	1-12	9A001,9A015	[(同梱+まとめ+纏め),5c,配送/tx*商品,20n,(注文+購入)/tx]-¥(1+2+3)	26
5	1-12	5L049,9A001,9A015	[{商品,(同梱+まとめ+纏め),(配送+配達)},20n/tx*商品,40n,注文/tx*(配送+配達),2c,方法/tx]-¥(1+2+3+4)	21
6	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*{商品,(同梱+まとめ+纏め),(配送+配達)},20n/tx*商品,40n,注文/tx*{商品,(配送+配達),(記憶+データベース+D B)},40n/tx]-¥(1+2+3+4+5)	30
7	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*(配送+配達),2c,(セット+組)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6)	43
8	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*(配送+配達),5c,(スケジュール+日程)/tx*(スケジュール+日程),5c,(型+タイプ+I D+識別)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7)	8
9	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*支払,5c,方法/tx*{支払,方法,(記憶+データベース+D B)},20n/tx*{支払,方法,商品},40n/tx*(クレジットカード+代引き+振込)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8)	82
10	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*{(届+着),(指定+選択),(可能+候補)},20n/tx*{(指定+選択),(可能+候補),日},20n/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9)	53
11	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*(配送+配達),10n,(セット+同梱+まとめ+纏め+一括)/tx*(セット+同梱+まとめ+纏め+一括),10n,日/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10)	57
12	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*{商品,(配送+配達),(スケジュール+日程)},20n/tx*{(配送+配達),(スケジュール+日程),(記憶+格納+データベース+D B)},40n/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11)	25
13	1-12	5L049,9A001,9A015	[(配送+配達),5c,セット/tx*商品,20n,(配送+配達)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12)	25
14	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*注文,5c,日/tx*{配送,要,日数},10n/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13)	12
15	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*支払,1c,方法/tx*(クレジットカード+代引き+振込),40n,(データベース+D B+記憶部)/tx*配送,20n,(データベース+D B+記憶部)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13+14)	26
16	1-12	5L049,9A001,9A015	[商品,20n,(配送+配達)/tx*(スケジュール+日程),5c,(型+タイプ+I D+識別)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13+14+15)	15
17	1-12	5L049,9A001,9A015	[(5L049BB22+5L049AA16)*商品,20n,(配送+配達)/tx*商品/tx*(配送+配達),5c,(I D+識別)/tx*商品,20n,(データベース+記憶部+格納部)/tx*(配送+配達),20n,(データベース+記憶部+格納部)/tx]-¥(1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+13+14+15+16)	74
25	1-12	5L049,9A001,9A015	[商品,(同梱+まとめ+纏め),(配送+配達+発送+輸送+運送),20n/tx*(配送+配達+発送+輸送+運送),2c,方法/tx	71

図2 検索報告書の検索論理式

全体を通して、特許分類については「5L049BB22：電子商取引」「5L049AA16：ロジスティック」の2つを使用するとともに、「まとめ配送」「配送日時」といった概念のキーワードを掛け合わせた検索が行われています。「配送情報」を取り扱うことから「ロジスティック」のFターム細分類を指定したと思われます。

テーマコードの列を見ると、見慣れないFタームのような「9A001、9A015」という分類コードで間口を限定してキーワード検索が行われています。この「9A001、9A015」というのは「CSターム」と呼ばれるもので、コンピュータソフトウェアデータベース（CSDB）検索で利用可能な分類コードです。J-PlatPatの「特許・実用新案分類照会（PMGS）」のFタームのコード照会をすると内容を確認することができます。（CSタームについては演習問題2の解説記事の中で説明しています。）

次に、スクリーニングが行われた結果を図3に示しました。国内特許調査により、10件の文献が抽出されました。残念ながら、今回の検索報告書では「引用文献」は抽出できなかったようです。

■スクリーニングサーチの結果

【No.】	【提示文献の種別】	【対話型追加文献の種別】	【提示文献】	【代表カテゴリ】	【式No.】
1	特許文献		特開2015-082244号公報	X,Y1	1
2	特許文献		特開2013-114356号公報	X,Y2	14
3	特許文献		特開2012-252388号公報	A	3
4	特許文献		国際公開第2017/109907号	A	1
5	特許文献		特開2004-334444号公報	A	9
6	特許文献		特開2004-030606号公報	A	6
7	特許文献		国際公開第2015/111224号	A	16
9	特許文献		国際公開第2015/111170号	A	5
11	特許文献	対話型追加文献	特開2016-167161号公報	A	25
12	特許文献	対話型追加文献	特許第6363776号公報	A	25

図3 検索報告書のスクリーニングサーチの結果

提示文献NO. 1とNO. 2は「X（エックス）カテゴリ」として報告されていますが、審査官は引用文献として採用していません。さらに、提示文献NO. 11とNO. 12は「対話型追加文献」として抽出されており、検索者が審査官との対話により、図2の検索論理式No. 25の検索を追加実施して抽出された文献になります。

したがって、引用文献は登録調査機関が実施した調査ではなく、審査官自身の先行技術調査により見つけられた公報であると推測されます。

4. ビジネス関連発明と I o T に関連する特許分類について

I o T (Internet of Things) 関連技術の国際特許分類 (IPC) である「G 1 6 Y」は、2020 年 1 月に新たに発効され、その後、F I については 2020 年 4 月に新設され付与が開始されています。

「G 1 6 Y」の細分類項目としては、業種毎の細分類「G 1 6 Y 1 0 / ?」、情報の種類毎の細分類「G 1 6 Y 2 0 / ?」、目的毎の細分類「G 1 6 Y 4 0 / ?」などがあるので、調査する I o T テーマに関連する細分類を特定して検索に用いると良いかと思えます。

I o T に関連する特許出願としては、1999 年頃から数年間にわたりブーム的に多くの出願が行われてきたビジネスモデル特許 (ビジネス関連発明) があると思います。そこで、G 1 6 Y に加えて、ビジネス関連発明の特許分類 (F I と F ターム) について紹介します。

■ビジネス関連発明の F I

現行分類	G06Q : 管理目的, 商用目的, 金融目的, 経営目的, 監督目的または予測目的に特に適合したデータ処理システムまたは方法 ; 他に分類されない, 管理目的, 商用目的, 金融目的, 経営目的, 監督目的または予測目的に特に適合したシステムまたは方法
旧分類	G06F17/60 : 管理目的, 業務目的, 経営目的, 監督目的または予測目的のデジタル計算またはデータ処理の装置または方法 G06F15/21 : 管理または業務用のための計算部分の設計または構成

■ビジネス関連発明の F ターム

現行分類	5L049 : 管理・経営・業務システム, 電子商取引 (カテゴリ: 電子商取引) 5L055 : 金融・保険関連業務, 支払・決済 (カテゴリ: 電子商取引)
旧分類	5B049 : 特定用途計算機

上記に提示した分類コードの細分類や周辺の分類を確認して、調査対象となるビジネスに関連する特許分類を特定するのですが、新旧の分類が入り乱れているので特定するのは大変な作業になります。しかし、過去に遡及してモレの無い調査を実施するためには、最新の F I と F タームのみではなく、旧分類についても特定し、指定すべきであると思えます。

5. 実行したい検索式の具体例

今回の題材で実施できたら良いと思われる検索式の例をご紹介します。今回はお勧めの検索式というよりは、引用例を強引にヒットさせるならこうするといったニュアンスで紹介します。

FI=G06Q30/06, 170

× 名称+要約+請求項=[複数*商品]語順指定あり5文字以内

→ヒット件数：98件 題材公報：× 引用文献：×

電子商取引における配送に関連するFIが見られたので指定しました。配送に特徴を有する発明には付与されていると思われ指定しました。旧分類であるので新しい公報には付与されていません。

FT=5L049BB65

× 名称+要約+請求項=[複数*商品]語順指定あり5文字以内

→ヒット件数：107件 題材公報：○ 引用文献：×

Fタームについても、電子商取引における配送に関連するFタームが見られたので指定しました。題材公報にはこのFタームのみが付与されています。このFタームは最新のFターム分類コードであるので、古い公報から最新の公報まで検索することができます。

FI=G06Q30/06, 300

× 名称+要約+請求項=(商品情報+商品ID)

× 名称+要約+請求項=配送

× 名称+要約+請求項=[複数*商品]語順指定あり5文字以内

→ヒット件数：143件 題材公報：○ 引用文献：○

電子ショッピングに関するFIで間口を指定し、「商品情報×配送×複数の商品」の概念のキーワードで絞り込みました。題材公報と引用文献の両方がヒットしています。

FT=5L049BB22

× 名称+要約+請求項=(商品情報+商品ID)

× 名称+要約+請求項=配送

× 名称+要約+請求項=[複数*商品]語順指定あり5文字以内

→ヒット件数：145件 題材公報：○ 引用文献：○

電子商取引に関するFタームで間口を指定し、「商品情報×配送×複数の商品」の概念のキーワードで絞り込みました。題材公報と引用文献の両方がヒットしています。

6. 今回の事例から学んだポイント

今回の演習課題への取り組みにより得られた知見をまとめます。

(1) IOT関連の調査では、「G16Y」の細分類を確認する。

(2) ビジネスモデルの調査では、「G06Q、G07F」の新旧分類を確認する。

あらゆる業種で今後も関わりが増えていくと思われる、「IOT関連」「電子商取引」「ビジネス関連発明」について、関連する分類の体系を把握し、上手く活用したいですね。

—以上—